



# ニュースレター あすか

2012  
5月号

通算 230号

2012年5月1日

平成24年度 医療法人あすか 入社式



日時 平成24年4月5日  
場所 本通り アンデルセン



理事長の挨拶

は、4月入社者の6名、今年1月以降入社者の6名、合わせて12名の入社式を行いました。

理事長の歓迎のあいさつに引き続き、新入職員を代表して伊東理恵さんから「私どもは医療法人あすかの一員となりました。志の高い職員の皆様と一緒に仕事が出来ること大きな喜びを感じます。皆様が築いてこられた歴史を共に盛り上げていける人材になりたいです。」との力強い宣誓がありました。入社式に引き続き、先輩職員からの歓迎のプログラムで楽しいひとときを過ごしました。医療法人あすかの明日を担う、そして地域に貢献する人材がたくさん入社してくれたことはとても嬉しいです。一緒にがんばっていきましょう。

(副院長 高橋真弓)



最後に職員全員で記念撮影



新入職員代表 伊東さんの挨拶

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも  
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：新宅 佳那子)

住所：〒731-0103  
広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143 FAX:082-879-3190

### 【目次】

### 【ページ】

- 1. 入社式のご報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. しゅりあちよーくのリハビリ・・・・・・・・ 2
- 3. 夢プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 4. 夢プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 5. 事業所だより
- 6. 作品紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 7. 玩具療法セミナーのご報告・・・・・・・・ 6
- 8. 若竹句会 3月作品抄
- 9. おいしく元気になるレシピ 第3回・・・・ 7
- 10. 園芸療法・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

# しゅりあちよーくのリハビリ 新しいマシンが導入されました

## ーよりよいマン・マシン・システムを目指してー

しゅりあちよーくトレーナー：高柿 美恵

2001年、ある歩行の不自由な高齢者がマシンで手足を動かすトレーニングをしました。直後、その高齢者はほんのちよびり自立歩行ができました。驚いたのは、本人はもとより周りのスタッフでした。これが日本におけるパワーリハビリテーションの始まりでした。

医療法人あすかでは、広島地方で初めて高齢者向けのトレーニングマシンを導入し、以来その適切運用に努力してまいりました。

マシン適用上で最も重視すべきキーワードは①マシン特性の熟知②利用者様の個別特性の把握③快適空間の創出④総合評価システムの確立などです。つまり、人とマシンが対話し、相乗効果をあげるシステム、マン・マシン・システムの確立という概念(図1)です。

私たちスタッフは、この目的を実現するために皆様の力を最大限発揮していただくためのサポートをしています。

写真はしゅりあちよーくりハビリ室の実況中継です。

### 【マシントレーニングの目的】

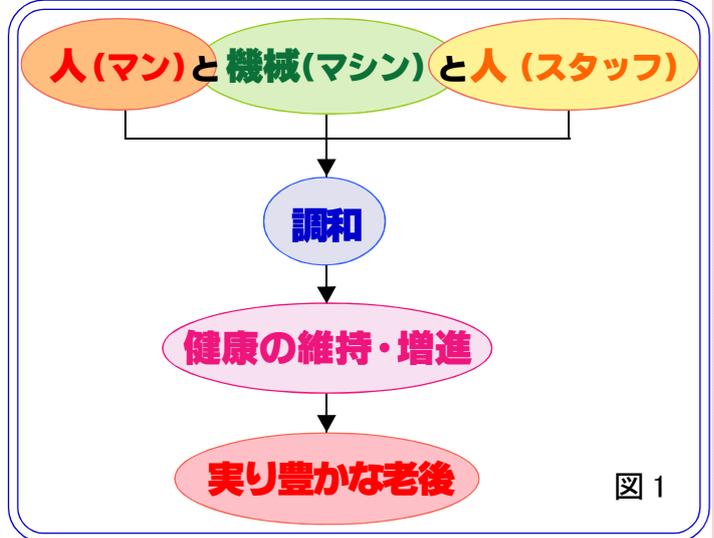


図1

何こそ  
ここ(リハルーム)には  
文句ありません!



平行棒:歩行、バランス練習



ロウリング:腹筋・背筋



ソウアスリンク:大腰筋

車を運転  
できるよう  
なったんよ♪



ショルダーリンク:肩・上肢

左右の  
バランスを  
見てください!



フットケア:足浴、  
タオルギャザー・マッサージ

手をあげると  
しんどいネ。



チェストリンク:胸・  
上肢・下肢



スタジオ:ストレッチボール、  
リラクゼーション

背中が伸びて  
鳥取砂丘に  
寝とるような  
気分よ♪



ニューステップ:有酸素運動



コキシアリンク:股関節・  
内転筋・外転筋

もっとサッサッと  
歩けるよう  
になりたいわ☆



# 夢をかなえるプロジェクト



★ 利用者さまの夢を叶えるお手伝いをいたします! ★

## \* ショートステイいわや \*

### 『ハッピーバレンタイン♡』

#### 山崎久枝様の夢

山崎様の旦那様は、週2回デイサービスの野の花を利用されています。利用時には毎回、ショートステイにいらっしゃる久枝様に会いに来て下さり、手を握ってお話されるほどお二人はとても仲よし夫婦なのです。そんなある日、スタッフと久枝様がお話しているときに「お父ちゃんに何かしたいー」と言われることがありました。そこで私たちは、2月14日のバレンタインの日にお二人でゆつくり過ごして頂ける場を作ることになりました。

いわやの5階を貸し切り園芸療法士の協力で、植木や花をセッティングしました。まず昼食を食べて頂くとうと向かい合って座っていたたくも、久枝様は隣に座っていたスタッフの方ばかりを見られるのです。スタッフが、「旦那様とお話したらどうですか?」と言うと「恥ずかしくて見れんのかよ。」と照れ笑いされておられました。お二人がいわやで、ご一緒



にお食事をされるのは初めて。「お母ちゃん、一緒にご飯を食べるのなんていつぶりかねえ。」と涙ぐまれる旦那様の姿も見られました。

食事の後には、足湯にバフの花びらを浮かばせました。体の傾きがある久枝様ですが、そこはしっかりと旦那様が支えておられスタッフも羨ましくなるほど!!

最後には、野の花で行われたコンサートに参加されましたがソファーに座られ寄り添っておられる姿をみると、私たちスタッフも自然と笑顔がほころびました。

これからもこんな時間をいっぱい作っていきますよ(井上舞)

## \* まやるちよーく \*

### 『ラブラドルがやってきた!』



ミナーがあり一匹の玩具犬に出会いました。ラブラドルは体高50センチもあり本物そっくりです。この犬は今、いわやのショートステイにいます。犬がお好きなご利用者様に喜んでいただけると思い、まやるちよーくの番犬として1週間借りることにしました。到着初日は茶色い毛並みで尻尾を振りながら出迎える犬に「本物?」とびつくりして足を止める方、「可愛い!」と抱きしめる方。また、まる・たろっ・ななちゃんと思いたい思いの名前と呼んで可愛がつく

「若い頃犬を飼って、かわいくてね。」「あんな犬がおつたらええね。」犬のビデオや写真を見ながら、目を細めるご利用者様。どうか、犬と触れ合うことは出来ないだろうか。…そんな時、玩具療法セ

ださり、孫のような存在となりました。そして、あつという間に1週間が過ぎました。

時々、まやるちよーくに来てもらおうと思います。ご利用者様が特別笑顔になれる1週間でした。(山下亜抄子)





# 夢をかなえるプロジェクト



★ 利用者さまの夢を叶えるお手伝いをいたします! ★

## \* つどいの家 \*

『より楽しく、より豊かに』

～高部トシエ様の夢～



普段は半日ベッドで過ごされる事が多い高部様。ベッドの上での生活をより楽しく、豊かに過ごしていただくための工夫を重ねてきました。出来るだけ家の雰囲気味わっていただきたく、観葉植物がいろいろのご自宅のように、そして好きな童謡をいつも聞いていただけるよう取り組みをすることにしました。



ある暖かくお天気の良い日に高部様と一緒にお花屋さんに行きました。口紅をつけ、ストールを巻き、おめかしをして出かけました。途中、近所の家に咲いている花を見て、春の匂いと風を感じていただきながらの道のりです。お花屋さんでは高部様がお好きだと言う黄色い花、「ラナンキュラス」を買いました。お部屋に戻ると、花を飾り、「どこかで春が」や「ちようちよう」などたくさん童謡を聞きながらひと休みしました。好きなお花をもっと身近に感じていただきたくベッド柵にもお花の写真をたくさん飾ったところ、花の写真をじっくり見て指で触っていらつしやいました。もうすぐ春です。つどいのブランタでもいっぱい花が咲きます。一緒に楽しみましょうね。



(高山芳美)

## \* ショートステイみどりい \*

『おしゃれな誕生日会』

～薮田國子様の夢～



おしゃれが大好きな薮田様の誕生日は3月1日です。今年86歳です。ご家族に「薮田様がお好きだった服を着てドレスアップして、お誕生日会を開きませんか。」と提案し、「ご家族と一緒に『おしゃれな誕生日会』を開きました。当日は職員が髪をスタイリングし、お出かけでよく着ておられたちりめんのスーツを着ていただきました。長女様ご

夫婦、次女様、お孫様が来てくださいました。会場の屋上庭園が見渡せる新館5階フロアにてまず長女様、次女様にメイクをしていただきました。「お母ちゃんはぱっちりメイクをしていたよね。」と会話も弾む中、メイクが完成しお気に入りのネックレスを付けて鏡を見た薮田様は満面の笑顔で「綺麗ね。」とおっしゃっていました。皆様で記念写真を撮った後、職員からのお祝いメッセージと薮田様の写真を貼ったアルバムにご家族様は大変喜んでくださいました。そしてコーラスをされていた薮田様にご家族よりピアノの形をしたケーキがプレゼントされました。アルバムも持参していただき、思い出話に花が咲く中、薮田様は嬉しそうに歌を口ずさんでおられました。「ご家族様の愛情いっぱい『おしゃれな誕生日会』に私たち職員も温かい気持ちになりました。」



(大村まい)



しゅりあちよーく  
野ばら

♪唄と踊りのしゅりあちよーく♪

3/6

楽しく和気あいあいと民謡・詩吟の練習を積み重ね、日頃の成果を発表する『唄と踊りのしゅりあちよーく』がありました。民謡の正木先生・詩吟の脇坂先生と踊りのポランティアの方々が来られ、ご利用者の皆様と一緒に唄と踊りを披露してくださいました。

朝から背広を着込み、気合を入れて来られた多田様・片桐様の唄による『矢切の渡し』男性お二人の熱のこもった唄に、艶やかな踊りが重なりました。

書道の釈迦郡先生による大正琴の演奏にあわせ、皆様も一緒に『二人は若い』『青い山脈』などを唄い、春らしい明るい雰囲気！職員も『ひよとと』踊り』では、ひよとと・おかめのお面を被り、飛び入り参加。笑いと拍手をいただきました。きれいな歌手の方が『星の流れに』を歌われると、会場はうっとり。拍手喝采で幕を閉じ、「来年もお願いします」と熱い声がありました。（幾田千代）

練習の成果を披露する多田様






素敵な作品をご紹介します！

作品介绍



まやるちよーく  
福廣 ツヤ子様



絵画の川口先生と一緒に

幼少からお父様が書道や絵を描かせるのが好きで、羽子板に絵を描いたりして、描く事は子どもの頃から好きだったという福廣様。  
「手が思うように動かず、なかなかいいようになりません。」と話されますが、作品は繊細で思わずため息がこぼれます。



【手芸担当職員からのメッセージ】  
雛人形は細かい作業が多かったのですが、とても丁寧につてくださいました。雛人形の眼もとても優しく、寺岡さんによく似ている気がします。以前に作られた雛人形も、持って来て見せていただきました。とても素敵ですね。

しゅりあちよーく  
寺岡 ツユ子様



雛人形が仕上げたて家に持って帰ると、息子と嫁さんが「かわいいね」と言うてくれました。近所の人にも、「家に見においで」と呼んで見てもらいましたよ。みんな、褒めてくれました。



以前の作品



今回の作品



■2009年から玩具療法士の養成セミナーを始めました。玩具療法士はまだ20人余りしかいませんが、半分は企業の人たちです。バンダイ、トミー、エポック、セガなどおもちゃメーカーのスタッフと一緒に研究を進めています。また、青山の“こどもの城”で障害児のための相談もしています。

最近、障害児のための玩具も開発されてきました。ドラえもんの声で「〇が掛けるようになりましたか?」と聞いてくるんです。できなかつたら「もう一度やってみよう。」うまくいったら「よく出来ました。」と誉めてくれるんです。子どもたちは喜んでやってくれます。こういうものがあれば高齢者の人も楽しく過ごせなるあとと思います。玩具業界もどんどん進化しています。福祉機器、教育玩具と名がつくと同じパズルやおもちゃでも3倍くらいの値段になるんです。おもちゃだと、1万円くらいで言葉をしゃべる人形やネコが買えます。こんな楽しいことが出来るということを誰も知らないんです。

東日本大震災のあと、仙台、石巻、女川、気仙沼などいろんなところにおもちゃを持って行って来ました。仙台の病院には、帰る家がない認知症のお年寄りがたくさんいらっしゃいました。その中で誰もが喜んだのは癒し系のおもちゃでした。おもちゃメーカーの方が協力してくれてネコ、イヌ、人形などがいっぱい入ったダンボールには「頑張ってください」というメッセージも入っていました。とても感動しました。手をたたくと音楽がなるおもちゃ、地面に転がすと蹴っ飛ばすまで笑っているブタ、押すと歩くヒヨコ、笑うサルなど楽しいおもちゃが沢山ありました。孫と消息がとれないというお年寄りは、ずっと孫の名前を呼んでいました。

■東京のデイサービスに、Kさんという男性がいました。いつも卑猥なことばかり言ったり、若い女性職員の胸を触ったりするのでみんなから嫌われていました。ある時、Kさんに大きなラブラドルの犬を渡してみました。ラブラドルは、「お手」と言えばお手をするし、「伏せ」と言えば伏せをするので、Kさんはすっかりこの犬が気に入りました。Kさんは「コイツはすごいよ。俺のいうことを聞いてくれるのはコイツだけだ。なあトンベエ。」と言うようになりました。笑顔も出てきて職員にもだんだん心を開くようになりました。

もと、毛皮屋をしていたSさんは、人形の猫の毛を撫でながら、「これはいい毛をしている」と毛の値踏みをしています。

立川でお坊さんをしていたMさんは、ハンマーベンチを「ポクポク」とお経を唱えながら叩きます。同じおもちゃでもその人の職業や生活歴、生きてきた社会的なバックボーンの違いにより異なった遊び方をします。皆さんはお一人おひとりのことをよく知っているの、その方に合った遊び方を考えることができるんです。ハンマーベンチは物を叩く動作を通じて目と手の供応の訓練が出来ます。

お一人おひとりの尊厳を守りながら、症状の重い人から関わるとうまくいくと思います。玩具療法で認知症が治るわけではないのですが、玩具に触れることにより笑顔が出てきます。パズルなどうまく出来たら、子どもだと親が褒めるのですが、高齢者の方を褒めるのはそばにいる皆さんです。たった2ピースのパズルが完成したときでもしっかり褒めてください。

先日被災地の幼稚園におもちゃを届けた時に、先生がおっしゃっていました。子どもたちが、自由遊びの時間にブロックを並べてお葬式ごっこをしていると・・・。首のない死体の絵を書いています。こんな悲しいことがあってもいいのでしょうか。子どもたちの心をどう癒していくか。子どもたちのために大人が何かをしなくてははいけないと思い、沢山のおもちゃを持ってきました。今それが役立っていることが嬉しいです。



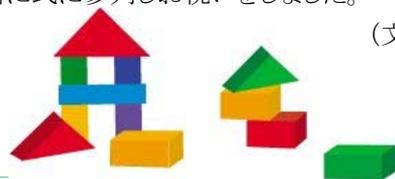
堀田由美さん(玩具福祉学会 理事)

私は小学校で非常勤教師をしています。私には20歳の息子がいます。息子はしゃべらない、動かない、全面介助の状態です。

息子は脳性マヒで生まれましたが、親の気持ちとしては「いつか治るだろう。」と思いながら必死で薬を飲ませ、ミルクをチューブで与え痰を吸引する毎日でした。命を守るだけで必死でした。そんな時に親は子どもがおもちゃで遊べるなんて思いつかないんです。息子は3歳まで入院していました。そんなある時ビックマックというおもちゃに出会いました。足にスイッチが当たるだけでミッキーがしゃべるのです。そうしたら息子が笑ったんです。生まれて初めて笑ったんです。おもちゃがくれた笑顔でした。その後は、私も息子もおもちゃと一緒に成長してきました。

VOCAという言葉が話すことができない子どもたちのための機械があります。また、天井に画像を映し話をしてくれるおもちゃもあります。重度の障害を持った子どもたちがおもちゃで遊ぶ時間を見つけるといいです。子どもたちがおもちゃを楽しむためには、いろんな配慮が必要です。食事が終わったら遊ぼうねとか生活リズムの中で遊ぶ時間を設定したり、環境を設定することが大切です。おもちゃで遊ぶ時間の長さは何のくらいがいいか、おもちゃがちゃんと視野に入っているか。観察が大切です。息子は毎日デイサービスに通っています。医療のニーズが高いため訪問看護に週2回来てもらっています。小学校は地域の小学校に通いました。沢山の友達も出来ました。成人式にはみんなと一緒に式に参列しお祝いをしました。

(文責 高橋真弓)



若竹句会三月作品抄 信廣高陽選（平成二四年）

白い息 ふつ掛け眼鏡の曇りとする  
 原田ツヤノ  
 「寸評」冬になると人の吐く息が白く見える。冬のいきいきした季語の一つでもあります。「ふつ掛け」が、この句の命です。

珍しく 積り積った 雪景色  
 吉岡千恵子  
 「寸評」想定外の大雪。原句「この街に珍しく積んだ雪景色」の発想はすばらしいんですが、リズム感に着眼することも忘れなさい。

大寒や 空手修行の 子供達  
 後藤 義高  
 「寸評」一年中で一番寒いとき、雪を分け、夜明けの道を寒稽古に通った思い出をもつ人も多いことでしょう。

庭に出て 花の種蒔く 話など  
 常広 信枝  
 「寸評」俳句では「種蒔く」は、靱を苗代に蒔くことをいい、「物種蒔く」は、野菜・花の種の総称で、「花種蒔く」「鶏頭蒔く」などと用います。原句「畑でもボツボツ種蒔きしたくかな」は標記のとおり修正してみました。

うらやまし 恋猫恋に 専念す  
 綿谷カツエ  
 「寸評」言句「春うらら猫の恋する時期がある」は、傍線の季語がいずれも春。一句には一季語でまとめるように心がけましょう。

蒨葎草 ポパイの話 遠くなり  
 石原 守恒  
 「寸評」ポパイはアメリカの漫画、アニメーション映画の主人公。ほうれん草を食べると怪力が出る。恋人のオリーブをめぐり、ブルートと争う。原作はシーガー（1894～1938）蒨葎草が春の季語です。

猫柳 倒れんばかりの 花穂つけて  
 河野 一枝  
 「寸評」猫柳は二月ごろ葉の出るまでに、銀ねずみ色の絹毛の花穂をつける。その艶のある密生した毛が猫を思わせるので、この名がある。

老梅や つばみ鈴生り 昏れ暮る  
 綿谷カツエ  
 「寸評」白梅の老木が衰亡に向かっているにもかかわらず、おびたしい花を咲かせ、生命力を発散していることへの驚きをうまくとらえています。しかし、句の底には同時に老人への思いもあるようです。

「選者 吟」  
 「はい」といふ 返事とりどり 入学式  
 信廣 高陽

おいしく元気になるレシピ 第3回

～食べることで…それは私たちの命の源です。～

「皐月」とは、“神に供える稲を植える月”という意味があり、また“さつき”の花が綺麗に咲き誇る時期でもあるからだと聞きます。

今月は、巷でブームの“塩麴”レシピを紹介します。塩麴とは、麴と塩、水を混ぜて発酵・熟成させた、日本の伝統的な調味料です。麴菌が分泌する酵素により、食材のさまざまな成分を分解して素材を柔らかくし、さらに食材に塩麴が持つ旨味や香りをプラスする、自然の調味料といえます。漬け込むだけの 簡単でお手軽メニューです。ぜひ、お試しください。

(管理栄養士 奥上美代子)

★鮭の塩麴焼き★

《材料》

- ・ 鮭切り身…1切れ
- ・ 塩麴…適量



《作り方》

- ①鮭に塩麴をなすりつけ、冷蔵庫で数時間置く。
- ②塩麴を取り除き、オーブン、グリルで焼く。  
※塩麴を取り除かないと焦げやすい！

★鶏肉の柔らか塩麴焼き★

《材料》

- ・ 鶏胸肉 60g  
…1枚(一口大に切る)
- ・ 塩麴…大さじ1
- ・ 片栗粉…大さじ1

《作り方》

- ①胸肉を繊維に沿って一口大に切る。
- ②ビニール袋に塩麴と鶏肉をよくもみ込み、30分以上漬けておく。
- ③クッキングペーパーなどで、表面をよく拭き取り片栗粉をまぶし、油をひいたフライパンで焼く。

★胡瓜の塩麴漬★

《材料》

- ・ 胡瓜…1本
- ・ 塩麴…適量



《作り方》

- ①胡瓜をよく洗い、水分を拭き取り、斜めに切る。
- ②ビニール袋に胡瓜を入れ、塩麴を入れて揉むようにしてまんべんなく漬けておく。
- ③冷蔵庫でしばらく置く。



園芸療法

「心が動けば体も動く」をテーマに

今年の冬は雪もよく降り、本当に寒かったですね。いわかも霜柱で花の苗が浮き上がってしまう程でした。

デイサービスセンター野の花のレイズドベッドでは、寒い中でも、ほうれん草、寒咲きの菜の花が利用者さんを楽しませてくれる為に頑張ってくれました。

利用者さんは、菜の花が大きくなるにつれ「これが咲いたらお花畑じゃね〜」「この縮れた葉が高菜みたい」「咲くのが楽しみね」「花びらが4枚だからアブラナ科じゃね」と、春を待ちわびておられました。

ある日、昔スーパーを営んでおられたY様が「この菜の花を油炒めにするのと美味しいよね」と一言おっしゃると、もう周りの利用者さんは「菜の花は油炒め」という頭になってしまい、次から菜の花を見ると、「いつ食べるの？早くたべようや」ばかり言われるようになってしまいました(笑)

「まさに花より団子ですね」と笑いあいました。



そして、何度かに分けて収穫、調理し、最後は観賞用として残り、黄色い花を楽しみました。

もちろん、菜の花の油炒めは大好評で、ひとつの植物でここまで楽しめるとは一石五鳥くらいでした。

食欲があるというのも素晴らしい事ですね！寒い時期には、なかなか外に

園芸療法士

西野

清子

出られませんでした。夏場に収穫、保存していた植物でのクラフト制作、押し花、種まきの準備など皆さん頑張ってくださいました。



もうすぐお花いっぱい季節になりますね

～ 医療法人あすかの経営理念 ～

『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。



当法人は、ISO9001の認証施設です



医療法人あすかの医療・介護関連施設

緑井3丁目20-1-103

あすか居宅介護支援事業所

082-830-5177

あすか病児保育室

緑井3丁目20-1-102

リハビリデイ・ポシブルみどりい

緑井2丁目12-25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター まやるちよーく

通所リハビリテーション すてつぷ

ショートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

毘沙門台東1丁目24-16  
デイサービスセンター しゅりあちよーく  
デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目40-30

毘沙門クリニック

ショートステイ いわや  
デイサービスセンター 野の花

【後記】  
担当になりました、新宅です。わたしのデビューはいかがでしたでしょうか。これから、みなさんの心がほっこり温まるような通信を作っていきたいと思います。よろしくお願いします。(新宅)